

平成 31 年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	書Ⅱ (教育図書)						
副教材等	自主教材プリント						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・書道の幅広い活動を通して、書に関心を持ち愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、探究心を育成し表現と鑑賞の能力を伸ばす。さまざまな書体の古典を学習することで、文字の発展の過程や時代背景など理解を促す。
- ・授業の進め方については、授業毎の目標を明確化し、表現(書作の意図・書写技術)と鑑賞を並行して扱い、評価については、各単元・授業毎の作品提出でおこなう。

2 学習の到達目標

- ・書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育成するとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	観察 ワークシート ポートフォリオ	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6 7	五書体 (楷書・ 行書・草書・ 隸書・篆書)の学 習	・五書体(楷書・行書・ 草書・隸書・篆書)を 、形臨中心に行い、書風 の違いによる表現技術の 習得と鑑賞する習慣を身 につける。	○	○		○	a:五書体(楷書・行書・草書・ 隸書・篆書)の美とその表現 技法について関心を持ち、表 現や鑑賞の活動に意欲的に 取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆方法 を理解し、表現を工夫してい る。 c:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する 用筆方法を身に付け表している。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代 表的な五書体の古典を知り、その よさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート ポートフォリ オ 提出作品
8 9	篆刻 印材によ る姓名 印づくり	・自分の名前調べ (各書体) ・名前の白文印の制作	○		○	○	a:名前の各書体調べを通じて 書体の変遷について関心を 持ち、表現や鑑賞の活動に意 欲的に取り組もうとしている。 b:篆刻における分間布白を理 解し、表現を工夫している。 c:印稿づくりにおいて小筆の弾力 を活かし、硬筆等にも応用できる 技法を身に付け表している。 d:様々な石や銅の印影を鑑賞し、そ のよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート ポートフォリ オ 提出作品
9 10 11	一・二字 書創作 臨書作 品制作	・草稿を作る ・全紙、半切に制作	○	○	○		a:参考古典、文字の選定など制 作活動について関心を持ち、 積極的に取り組もうとして いる。 b:作品の意図を明確にし、表現 を工夫している。 c:作品の意図を明確にするた めの表現の技能を身に付け 表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよ さや美しさを創造的に味わ っている。	観察 ワークシート ポートフォリ オ 提出作品

12	仮名(ひらがな)	・淡墨によるひらがな連綿、古筆臨書	○	○	○		a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品
1	から漢字	・今年目標制作					b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。	
2	仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書(ひらがなと漢字による表現)					c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。	
3							d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度 b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能 d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。